

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	(株) クレアメディコ	代表者	岡本 恒夫	法人・事業所の特徴	「医療・介護の原点はやさしさ」 上質な医療・介護を提供し、信頼され、選ばれる「さわやか苑」を目指し、地域医療・介護に貢献します。
事業所名	多機能ケアセンター さわやか苑 長倉	管理者	岩崎 智美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	人	1人	1人	1人	人	3人	人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> 年度末(2月)に工程表作成し3月から計画に対する取組みを開始する サービス評価委員のメンバーを選出(2月)し運営していく サービス評価についての研修4月実施 4月にご家族様、ご利用者様向けニーズを探るアンケートを作成し実施する。また、終了した方へもお願いする。 	<ul style="list-style-type: none"> 工程表を作成するが事業所内の落とし込みが不十分であり計画通りに運用する事ができなかった。 目標設定が明確ではなかった為、職員間での共有できていなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 前回よりも自己評価が低くなっているできていない点について「できるようにするためにどうしたら良いか」を計画するのはどうか。聞き取るタイミングは初回だけではない。したい事は変化する事がある。目標把握が薄かった原因を考えその人にとって良いケアが提供できるようにしてはどうか。 研修は全員参加できる工夫が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 評価前に自己評価や事業所評価について理解を深める為の勉強会を行う。 改善計画の取組みや進み具合を職場内ミーティングを利用し職員間で確認、共有していく。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> サービス評価委員を中心にご家族様アンケート結果集計、職員に事業所についての意識調査を実施し事業所の課題を探り事業所目標を設定する。 サービス向上委員会を中心に草取りやゴミ拾い、花壇作りを行い、苑周辺の環境をキレイに整える。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所の取組みの中で今年度より5Sメンバーを作り、環境整備、接遇面の強化に力を入れ取り組んだ。 苑の周辺の草は少人数でご利用者様と一緒に草取りをしたり、花壇作りを行った。外出ができなかった為、フロアからも花が見えるように工夫した。 	<ul style="list-style-type: none"> 周辺の環境については利用者や地域の方が和む事が目的であればフロアから見ただけでなく外気浴を兼ねた対応も考えてみてはどうか。 花壇作りに地域の方(学校を含む)がボランティアで参加してもらえればよいのではない。 清潔の観点は利用者視点で考えるにはどうしたらよいかを含め具体的に考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 苑周辺の草取りや花壇作りは引き続き行い、外からもきれいな環境作りを継続し行う。 感染対策を徹底しご利用者様に安心して過ごせる環境を提供する。 5S(整理・整頓・清潔・清掃・躰)の取組みを継続し職員のサービス向上に努める。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> 町内の年間行事を確認し、毎年参加している夏祭りやクリーン作戦には引き続き参加させて頂きながら花壇作りや防災訓練等今まで参加していなかった行事にも参加させていただく。 さわやか苑春祭りを実施し地域の方にたくさん参加して頂く為、事前に町内行事(小、中学校等も含む)を把握し日にちが重ならないようにする。また、4月作成の広報紙やポスターをコミセンに貼らせて頂き早めにお知らせをする。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナウイルスの影響でほとんどの行事の中止により去年以上に地域の方との交流が築けなかったが、感染対策をした上で秋頃に2回町内のクリーン作戦に参加する事ができた。 地域の方との関わりが減った中で町内の回覧板を利用しさわやか苑通信を発行し苑内の取組みを伝えた。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域とのつながりを強化するためにどうするか、何をどう活用するか検討が必要。町内会長等にアドバイスを求めたり、知見を有するものに参考例を挙げてもらう、市町村職員から他事業所の取組みを教えてもらう等求めてみるかどうか。 近隣住民にアンケートを実施してみたり利用者家族に聞いてみるなど検討してみてもどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の流行に留意しながら今年度同様、クリーン作戦には引き続き参加させていただく。 広報紙の充実を図る為、回覧方法やどのような紙面にするか町内会長さんや近隣住民にアンケートを用いてご意見をいただく
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> 職員研修の項目に「地域との関わりについて」を設け地域資源や在宅生活を支える取組みについての研修を行う。 ご利用者様が住んでいる地域の敬老会等の行事がいつ行われるか情報収集しご家族様も含め職員が支援しながらご利用者様が行事に参加できるよう働きかける 	<ul style="list-style-type: none"> 職員研修を行い、地域資源についての理解が図れた。施設の中だけで完結してしまいがちな職員へ在宅生活を支える事について理解してもらう事ができた。 ご利用者様の住んでいる地域についての関わりはできなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域をどうとらえるか。利用者それぞれの地域を細かく理解するのはおそらく不可能であり、利用者がそれぞれ具体的に地域の中でどのように繋がっているか、地域のどこと繋がっているかを紐解く事から開始してみてもどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 新年度採用職員や中途採用の職員にも事業所と地域の関わりについての理解と地域資源についての研修を行う。 ご利用者様が地域の中でどのような関わりがあるか、なじみのお店やお茶のみ仲間がいるのか家族、近隣の方々に情報収集する。

<p>E. 運営推進会議を活かした取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・異動や新人職員は運営推進会議について理解できていない事がある為、2月と4月に研修をした上で色んな職員が会議に参加できるようにし事業所の課題や地域支援について考え業務に活かせるようにする。 ・運営推進会議では提供回数等の報告だけでなく行事や地域との関わりについての報告や事故報告の対策や取り組みを報告しそれについてのご意見やアドバイスを頂き次回の対応に活かす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度はコロナウイルスの影響で運営推進会議が書面のみの開催となっていたが書面が滞る事が多々あり関係各所に多大な迷惑を被ってしまい反省している。 ・頂いたご意見を現場で活かせるように情報を共有した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・C項で実施した結果について運営推進会議内でアドバイスももらってはどうか。 ・報告だけの運営推進会議からの脱却を図ってはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・R3年度の運営推進会議はコロナ禍でも感染対策を行った上で会場の確保をし開催できるようにする。 ・事業所の取り組みや地域との関わりについて運営推進会議でご意見やアドバイスを頂き事業所の運営に活かす。
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・町内の避難訓練に参加させていただく。要望に応じて車いす操作、介助方などの講習会を行う ・苑の防災訓練に地域の方の参加をしていただく ・災害時、地域の方と連携が図れるよう町内会長様と緊急時の連絡先や避難場所等の動きを年度初めに確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度はコロナウイルスの影響もあり地域の方と連携して行う訓練の開催はできなかった。 ・災害時避難応援ノート、対応一覧、緊急時対応、連絡先等、災害時マニュアルの見直しを行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との訓練や運営推進会議での訓練、いざという時の近隣協力体制をどのように作るか、その為には何から始めればいいのかに着目してみたらいいのではないかな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害対策マニュアルのご利用者様対応一覧表は登録ご利用者様変更ごとに更新し常に新しい情報をファイリングする。 ・感染対策をした中で町内の避難訓練の参加や苑での防災訓練の参加をしていただけないか提案し計画する。